



日本・インドネシア共和国 国交 50周年記念

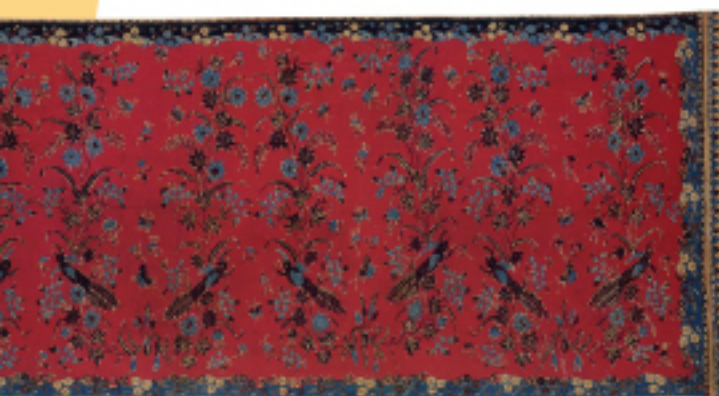
All about Batik

インドネシア更紗のすべて

— 伝統と融合の芸術

平成20年
8/1(金) → 9/15(月・祝)

Art of Tradition and Harmony



休館日 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)
開館時間 午前10時～午後6時
入館料 一般 1000円(800円)
学生 800円(600円)
※()内は20名以上の団体料金

監修 国土館大学政経学部教授 戸津正勝
主催 細見美術館 朝日新聞社
助成 国際交流基金
協賛 国土館大学

後援 インドネシア大使館 ジョクジャカルタ王宮
マンクネガラ王宮(スラカルタ) インドネシア・パティック協会
インドネシア日本友好協会 日本インドネシア協会
プカロガン市 プルサダ(インドネシア元日本留学生協会)
京都府教育委員会 京都市教育委員会 NHK京都放送局

 国土館大学

会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>

ご優待
一般/1,000円~800円
学生/ 800円~600円
本館にて4名様まで260円特別

《上段左から》
物花文様
ガム・グン文様
孔雀文様
花文様
《下段左から》
花鳥文様
孔雀文様
孔雀文様
孔雀文様

インドネシア更紗のすべて

— 伝統と融合の芸術

今年、日本とインドネシア共和国は国交50周年を迎えます。また、京都府はジャカルタ特別区と友好提携を結んでいます。この記念すべき年に当館では、王宮をはじめとする諸機関のご協力を得て、インドネシアの伝統的な染織品である更紗「パティック」の歴史と魅力を紹介します。

インドネシアの美

世界第4位の人口を誇り、300以上の民族から成るインドネシア。東西約5,000におよぶ広大な熱帯海域には、17,000以上の大小の島があり、更紗や緋、刺繍といった多彩な染織文化が息づいています。

パティックとは

インドネシアでは、蠟による防染を繰り返して複雑な文様を染め上げていく「メカシ」染めのことをパティックと呼んでいます。日本では「インドネシア更紗」と呼ばれ親しまれてきました。

コレクションについて

本展は京都・西陣のご出身で、アジア地域研究を専門とされる国士館大学教授 戸津正勝氏の30年に及ぶ膨大なコレクションによって構成されます。インドネシア諸地域の古い伝世品から現代作家の作品まで、様々なパティックの美しさをこの機会に是非ご堪能下さい。

All about
Batik
Art of Tradition and Harmony



平成20年
8/1(金)

↓
9/15(月・祝)



- (上から)
田花文更紗
パン文更紗
神獣文更紗
七宝文更紗
花東文更紗
- (右下)
クマ
〒605-0855 京都市東山区



- 市バス「東山二条」下車 徒歩3分
 - 市バス「京都美術館前」下車 徒歩5分
 - 地下鉄東西線「東山」駅下車 徒歩10分
- ご来館には公共交通機関をご利用下さい。

会期中の
イベント

- 特別企画
夏休み親子ワークショップ
「パティックってなに?—染色&着付け体験—」
8月2日(土)
低学年の部 10:15~12:30
高学年の部 13:30~16:00
- 第27回アートキューブレクチャー
「インドネシア更紗の歴史とその民族精神」
9月10日(水) 14:00~16:00
講師 戸津正勝氏(国士館大学政経学部教授)

※イベントは、すべて事前申込み制・有料。詳細についてはホームページにて公開。